



新京成のんびりおでかけ途中下車



VOL. 19 2008.6

発行/新京成電鉄株式会社
鉄道営業部 旅客サービス課
http://www.shinkeisei.co.jp/

松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根木戸

北習志野

習志野

薬園台

前原

新津田沼

京成津田沼

この資料館は、船橋の考古・民俗・歴史に関する資料の展示を目的として、昭和47年6月10日に開館しました。常設展示の「船橋の歩み」では、先土器時代から現代までの歴史が展示されているほか、「薬園台のはじまり」「農業」「漁業」「船まつり」の各セクションが設けられ、船橋の様子をコンパクトに学ぶことが出来るようになってきています。



▲船橋市郷土資料館

船橋市郷土資料館

俱利迦羅不動は、水神としての性格を持つとされ、修験者たちが修行する滝行場などに祀られました。ここに祀られる俱利迦羅不動は高さ117cmほどの石造の丸彫像で、寛文9年(1669年)9月28日、飯山満村光明寺の良英により建立されたと伝えられています。



▲俱利迦羅不動尊

俱利迦羅不動尊

俱利迦羅不動尊～船橋市郷土資料館～北習志野駅

約3.0km



明治天皇の碑

習志野地名発祥の地

現在の習志野台・高根台一帯は、かつて小金原・大和田原と言われ、江戸時代には幕府の牧(馬の放牧場)の一部でした。明治7年(1874年)より昭和20年(1945年)までは陸軍の演習地とされていました。明治6年(1874年)4月29日、明治天皇が西郷隆盛、篠原国幹らをしたがえて、演習を統監

された。演習後、天皇からこの地に習志野原の名を賜り、それを記念して大正6年(1917年)にこの碑が建てられました。



▲明治天皇の碑

薬園台の造られた名残の

薬園台

江戸時代、享保7年(1722年)幕府より、御典医となった丹羽正伯と江戸日本橋薬種問屋桐山太右衛門に30万坪が預けられ、薬草園造りが始まり、現在では新しい住居表示で「薬園台」になっています。また、薬園台駅には薬草をモチーフとしたタイルを壁面に配っています。